

## 『先輩と語る会』 報告と生徒感想

日時：平成28年9月10日(土)

8:55～10:00 全体会

10:10～10:40 分科会①

10:50～11:20 分科会②

本校では毎年、2年生を対象として『先輩と語る会』と題し、大学に進学した本校の卒業生を講師として招き、進路に関わる様々な話を聞く機会を設けています。本年度は卒業生17名に来校していただきました。

全体会では卒業生を代表して4名の卒業生に自身の高校時代や大学生活、就職活動などの話をさせていただきました。生徒にとっては、自分の姿を振り返ったり進路について考えたりするよいきっかけになったと思います。

その後は以下のような分野ごとに分かれ、分科会を行いました。前半・後半の二部構成で、興味・関心に応じて、学部・分野ごとの先輩の学問の内容への理解を深めました。

1	外国語	7	医療技術
2	教育	8	薬学
3	経済・経営	9	看護
4	社会	10	農業、生物
5	理学	11	芸術
6	工学		

〈全体会の様子〉



〈分科会の様子〉



### 生徒の感想(抜粋)

- ・3年生になって焦ったり、進路の選択肢を狭くしたりしないためにも、今しっかり基礎を身につけ、家でこつこつ勉強する習慣をつけることが大切だということがわかりました。部活をやっている切り替えをしっかりすれば、勉強と両立できるのでがんばりたいです。
- ・一つでも好きな教科、得意な教科をつくることは本当に必要なことだと思った。大学に向けてこれから本格的に勉強に励まないといけないと思った。少しずつ、一つでも苦手な教科がなくなるように、自主的に勉強していき、時間を大事に使うべきだと思った。
- ・先輩の中には様々な理由があってそれぞれの大学に入ったことがわかりました。先輩たちの話を聞いて共通することは、どの先輩もメリハリをつけ、受験勉強に対し意欲が高かったということです。自分はあまり危機感がなく、こんな感じでやればまあいいだろうという考えでしたが、今日の全体会を通して今日からのその考えを改めたいと思いました。
- ・代表の4人の先輩の話のおかげで、高校生の今からでも習慣づけておけるような事を教えてもらえて参考になりました。自分の得意な教科をもつことによって、自習時間だけではなくテスト中もモチベーションが上がるという話が特にためになりました。
- ・大学選びに一番大切なことは、自分の進路に合った内容の授業をしてくれる大学についてリサーチすることだということ、文系ならば特に高校のうちに数学でアドバンテージをつくっておくことが大切だという話を聞いたので、これからそれらに気を付けたいです。
- ・放射線技師や検査技師に対して、今までは名前を聞いたことがあるかな、ぐらいでしたが、今回の話でどんなことをするのか知ることができました。今の時代はチーム医療なので、自分の職業のことだけでなく相手の仕事内容も知らないといけないと分かったのでちょっと調べてみたいと思いました。
- ・「自分の意見を言える人になってほしい」という言葉が心に残りました。グループワークで人任せにせず、自分から行動できる人になりたいと思いました。
- ・主に勉強法や大学卒業後の進路について学んだ。勉強ではあまり科目をしぼらずに勉強をすることで選択肢が広がると分かった。特に英語は必要と感じた。
- ・工業大学ということで初期のうちから実践的なことをやるのかと思っていたけれど電気・電子や情報工学などは主に座学から始まる点に驚きました。また、工学系において大学院に進む意義なども知ることができてためになりました。